

県民意見の集約・県民への情報提供について

1 事業モニターチームについて

(1) 目的

12の特別対策事業について、県民の目線でモニターし、その結果を発信することにより、県民理解の促進を図るとともに、施策に県民意見を反映させる。

(2) メンバー

○森チーム（7名） 50音順

	氏名	区分
1	井上伸康	公募
2	岩渕聖	公募
3	片山幸男	関係団体
4	久保重明	公募
5	小林信雄	公募
6	増田清美	関係団体
7	◎柳川三郎	公募

○水チーム（7名） 50音順

	氏名	区分
1	井伊秀博	公募
2	北村多津一	公募
3	木下奈穂	公募
4	倉橋満知子	関係団体
5	高橋幸一	関係団体
6	◎高橋弘二	公募
7	高橋二三代	公募

※ ◎はリーダー

(3) モニター箇所

21年度は、各チーム3回の実施で計9事業（森チーム5事業、水チーム4事業）をモニターする。

(森チーム)

- ① 水源の森林づくり事業の推進
- ② 丹沢大山の保全・再生対策
- ③ 溪畔林整備事業
- ④ 間伐材の搬出促進
- ⑤ 地域水源林整備の支援

(水チーム)

- ⑥ 河川・水路における自然浄化対策の推進
- ⑦ 地下水保全対策の推進

- ⑧ 県内ダム集水域における公共下水道の整備促進
- ⑨ 県内ダム集水域における合併処理浄化槽の整備促進

(4) 実施日程

第1回 9月上旬 水チーム

- ⑧ 県内ダム集水域における公共下水道の整備促進
- ⑨ 県内ダム集水域における合併処理浄化槽の整備促進

第2回 10月中旬 森チーム

第3回 12月上旬 水チーム

第4回 1月下旬 森チーム

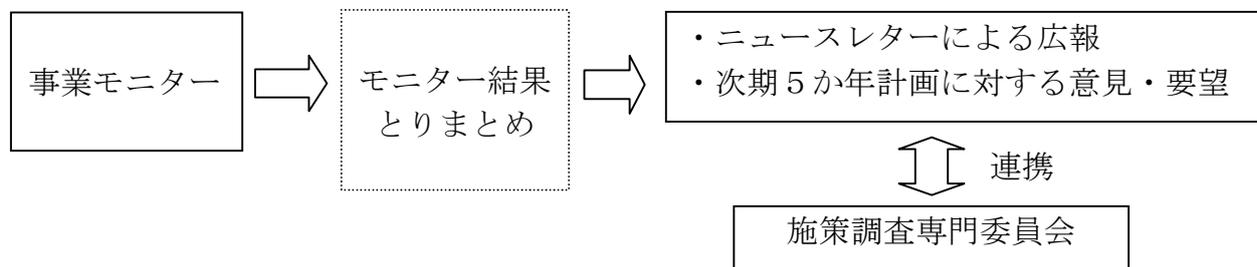
第5回 2月中旬 水チーム

第6回 3月上旬 森チーム

(5) 実施方法

- 各回ともに希望者によるオブザーバー参加を可能とする。
- 各回ともモニター事業についての事前学習（資料等は事前に配布）を行った上で、現場モニターを実施する。
- 原則として、事前学習、モニター、結果とりまとめを1日で行うものとするが、必要に応じて複数日の対応も可能とする。
- 実施後、チームとして結果をとりまとめ、ニュースレターの原稿を作成する。

(6) モニター結果の活用



2 県民フォーラムチームについて

(1) 目的

水源環境保全・再生の取組について、県民の意見を幅広く集約するとともに、水源環境保全・再生に係る情報の提供・発信等を目的に実施する。

(2) 実施回数

21年度に2回実施予定

(3) 実施時期

平成21年11月～2月頃

(4) 実施場所

横浜・川崎地域及び湘南地域

(5) メンバー

横浜・川崎地域及び県央・湘南地域の公募委員が中心になって企画立案
(7名) 50音順 (地域別)

	氏名	地 域
1	井 伊 秀 博	横浜・川崎地域
2	北 村 多津一	
3	木 下 奈 穂	
4	久 保 重 明	
5	岩 渕 聖	県央・湘南地域
6	小 林 信 雄	
7	柳 川 三 郎	

(6) 今後の検討事項

- ① 開催日程の調整、会場の選定
- ② 実施内容の企画
 - フォーラムの目的・方向性
 - ・参加者に対し訴えるもの、参加者から意見を求めたいもの
 - 広報、意見収集の方法
 - ・告知の方法について (どのような人たちに参加してもらいたいのか。)
 - ・効果的な意見収集の方法について
 - ・参加者を確保するための工夫について
 - フォーラムで情報提供する内容 (案)
 - ・19~20年度の神奈川県の実績 (水源税の徴収額、事業内容など)
 - ・県民会議の活動内容 (施策の点検結果報告)
 - ・平成22年度以降については、次期5か年計画に係る意見収集など

3 コミュニケーションチームについて

(1) 目 的

水源環境保全・再生施策の取組みについて、県民への情報提供、広報のあり方等について検討を行う。

(2) メンバー

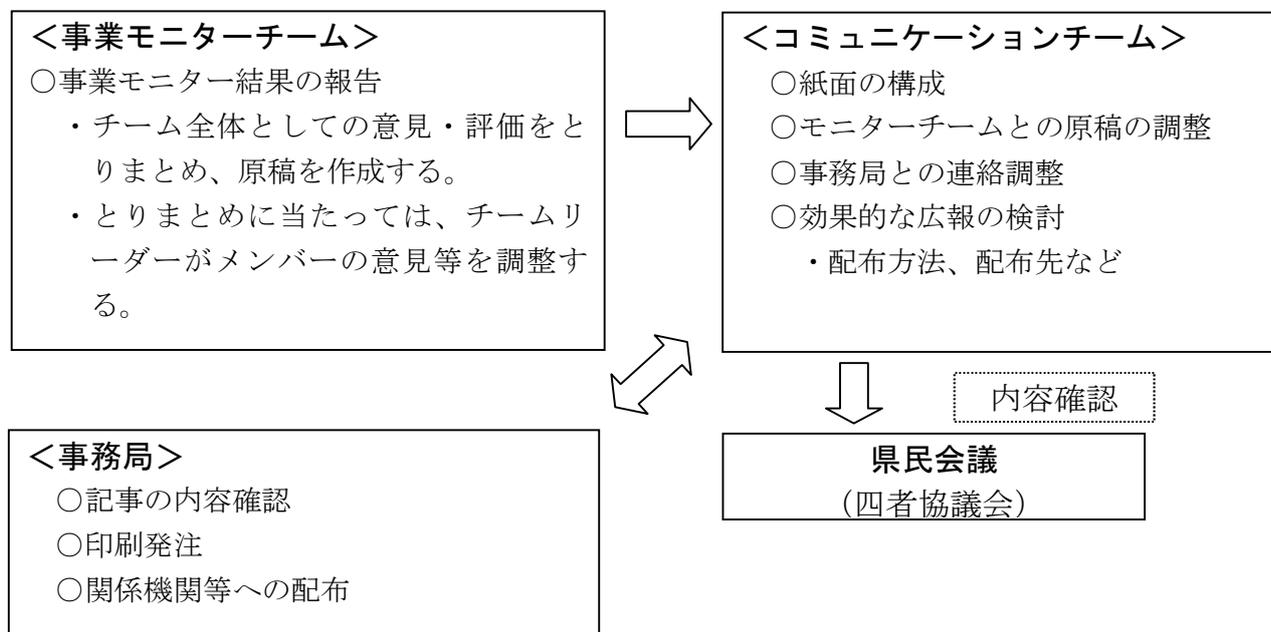
(5名) 50音順

	氏名	区分
1	北 村 多津一	公 募
2	木 下 奈 穂	公 募
3	小 林 信 雄	公 募
4	高 橋 弘 二	公 募
5	柳 川 三 郎	公 募

(3) 活動内容

- 「しずくちゃん便り」の編集（事業モニター結果の広報）
- ホームページの検証
- 県や県民会議が行う広報の検討など

(4) 「しずくちゃん便り」の編集に係る各チームの役割（案）



(5) 今後の検討事項

- 21年度の活動方針の決定（検討テーマ等）